

# 市長定例記者会見

平成23年11月30日（水）午前10時

- |   |                           |     |
|---|---------------------------|-----|
| 1 | ホワイトタイガーの赤ちゃん誕生           | 1 P |
| 2 | ドクターヘリの運航開始               | 2 P |
| 3 | 新青森駅開業1周年記念イベントでの観光キャンペーン | 3 P |
| 4 | 地球温暖化対策の主な取り組み            | 4 P |
| 5 | 冬のイルミネーションとカゴシマシティビューの増便  | 5 P |
| 6 | 第4回かごしまITフェスタ             | 6 P |
| 7 | 市民参加による広報紙の発行             | 7 P |



人工哺育中のホワイトタイガーの赤ちゃん

人とまち 個性が輝く 元気都市・かごしま  
—人とみどりが輝くまち—

鹿児島市

# 1 ホワイトタイガーの赤ちゃん誕生

5月に中国からやってきたホワイトタイガーのタイガ(オス)とコハク(メス)の間に、赤ちゃんが生まれた。

- 1 誕生日 11月18日(金)
- 2 誕生数 4頭(オス2、メス2) ※うち2頭死亡(オス1、メス1)
- 3 大きさなど 体毛は灰色、縞模様は黒茶色  
体長は約30cm、体重は約1300g
- 4 一般公開日 生育状況を見て判断(3ヶ月後)

## ※参考

ホワイトタイガーは、インドに生息するベンガルトラの白変種で、体毛は白やクリーム色、縞模様は黒や茶色である。白変種とは、色素の減少により体毛等が白くなった個体をいう。

日本では、平成23年11月25日現在で、8園で21頭(平川動物公園を除く)が飼育されている。



お父さんとお母さんになったタイガ(左)とコハク(右)

問い合わせ：平川動物公園  
電話：099-261-2326

## 2 ドクターヘリの運航開始

事故等ですぐに手術などが必要な重症患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図るために、救急専用の医療機器を装備し、専門の医師、看護師が搭乗して救命処置を行うドクターヘリが、本県ではじめて市立病院に導入され、12月26日午後から運航を開始する。

1 運航範囲 県本土、甑島、熊毛地域、三島村及び十島村（一部）

### 2 運航形態

鹿児島空港を基地ヘリポート、出動ヘリポートを浜町ヘリポートとし、ヘリの運航時間帯は出動要請に備え出動ヘリポートに待機し、出動要請後、市立病院の医師・看護師が搭乗して現場に出動し、現場等で、医師等による救命救急処置を施し、市立病院などの医療機関へ患者を搬送する。

3 運航時間 8時30分から日没まで（目安であり、天候等で変動）

※最終要請時刻（20分圏内：県本土）。8月は17時10分、12月は15時40分

### 4 ランデブーポイント（消防機関とドクターヘリの合流地点）

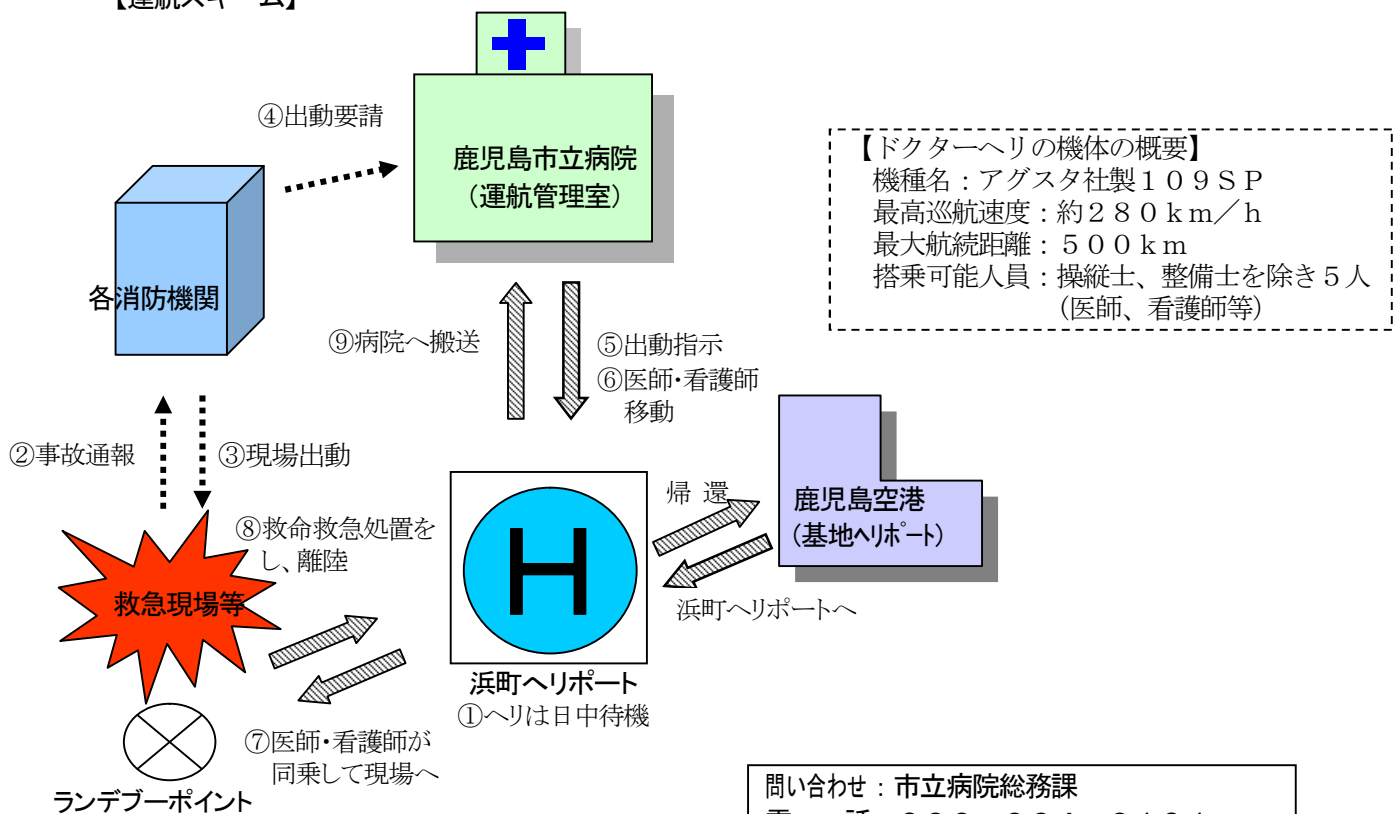
市内約80箇所（約600箇所）

5 搬送先医療機関 基地病院（市立病院）及び大学病院ほか30病院

6 実施主体 市立病院

※12月26日の午前中に浜町ヘリポートで運航開始式を実施予定。詳細は、後日、担当課よりお知らせする。

### 【運航スキーム】



### 3 新青森駅開業1周年記念イベントでの観光キャンペーン

本州・最北の青森と九州・最南の鹿児島が新幹線で結ばれたことを全国にアピールし、誘客を図るため、東北新幹線新青森駅開業1周年記念イベントに、薩摩観光維新隊が参加して、本市の観光キャンペーンを行う。

#### 1 薩摩観光維新隊による観光キャンペーン

##### (1) 新青森駅構内での観光PR

- ①日 時 12月3日(土)10時～16時
- ②場 所 新青森駅新幹線改札出口びゅうプラザ前

##### (2) 新青森駅開業1周年記念前夜祭

- ①日 時 12月3日(土)17～18時
- ②場 所 新青森駅東口駅前広場シンボルツリー付近

##### (3) 新青森駅開業1周年記念イベント

- ①日 時 12月4日(日)10時～16時
- ②場 所 新青森駅東口駅前広場

#### 2 内 容

- ・観光パンフレットの配布やポスター、西郷パネル掲出などによる観光PR
- ・観光プロモーションビデオの放映
- ・来場者への桜島小みかんのプレゼントや試食会の開催など



青森市における市長トップセールス(平成22年12月4日)

問い合わせ：かごしまプロモーション推進室  
電 話：099-216-1313

## 4 地球温暖化対策の主な取り組み

地球温暖化対策の主な取組状況を説明するとともに、12月の地球温暖化防止月間に合わせて実施する、かごしま環境未来館での関連イベントを紹介する。

### 1 23年度の主な取組状況

- (1) 住宅用太陽光発電の設置補助件数 928件(本年10月末現在)  
※平成16年度～22年度の設置補助件数(累計) 3,981件
- (2) 電動アシスト自転車の購入補助件数 356件(本年10月末現在)  
※平成21年度～22年度の購入補助件数(累計) 1,464件
- (3) 公共施設への太陽光発電の設置施設数 7施設(本年度予定)  
※平成8年度～22年度の設置施設数(累計) 47施設
- (4) 市電軌道敷緑化の整備 全長:約1.3km、芝生面積:約6,500㎡(本年度予定)  
※平成18年度～22年度の整備状況(累計) 全長:約6.4km、芝生面積:約25,000㎡  
※本年10月に「第10回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」国土交通大臣賞を受賞
- (5) コミュニティサイクル～ecoちゃり～の社会実験の結果
  - ①期間 10月5日(水)～11月13日(日) ※40日間
  - ②サイクルポート 7箇所
  - ③自転車台数 70台
  - ④登録者数 1,205人
  - ⑤利用回数 3,091回

### 2 かごしま環境未来館での関連イベント

- (1) 環境子どもサミット
  - ①日時 12月11日(日)12時30分～16時50分
  - ②内容 野口健氏(アルピニスト)の記念植樹や基調講演、「かごしまの森を守ろう」をテーマにした小・中学校・こどもエコクラブなど8団体の活動発表、パネルディスカッションの開催
- (2) 地球温暖化フォーラム2011
  - ①日時 12月17日(土)13時30分～15時10分
  - ②内容 緑のカーテンコンテスト表彰式やトークショーの開催、省エネなどに関するパネルや製品の展示など
- (3) 地球温暖化防止月間企画展
  - ①日時 12月3日(土)～25日(日)10時～16時 ※11日(日)、17日(土)を除く
  - ②内容 地球温暖化対策に関するパネルの展示や各種イベントの開催

【住宅用太陽光発電、電動アシスト自転車、公共施設への太陽光発電の設置、コミュニティサイクルの社会実験、地球温暖化フォーラム2011】  
問い合わせ: 環境政策課 電話: 099-216-1296

【市電軌道敷緑化】  
問い合わせ: 公園緑化課 電話: 099-285-2244

【環境子どもサミット、地球温暖化防止月間企画展】  
問い合わせ: 環境協働課 電話: 099-806-6666

## 5 冬のイルミネーションとカゴシマシティビューの増便

本市の冬の風物詩として多くの市民や観光客の皆様に親しまれているイルミネーションを今年も設置して、鹿児島県の冬の夜をロマンチックに彩るとともに、これにあわせて、カゴシマシティビューも増便する。

### 1 冬のイルミネーション

- (1) 期間 12月1日(木)～1月31日(火)
- (2) 点灯時間 18時～22時(12月24日・31日は翌日0時15分まで)  
※節電対策として、消灯時刻を1時間前倒し

### (3) 場所・内容

#### ①冬季光の回廊(マイアミ通り・海岸通り・みなと大通り公園)

マイアミ通り・海岸通りには約8万球のLED電球のほか、マイアミ通りに今年新たにイルカの形をしたイルミネーション8体を設置。みなと大通り公園には約10万球のLED電球を設置。

#### ②鹿児島中央駅前広場

約1万球のLED電球を設置

※みなと大通り公園・鹿児島中央駅前広場では、毎日19時・20時・21時及び1月1日の0時に一斉点灯(定時1分前に全部消灯し、一斉に再点灯)

### 2 カゴシマシティビューの増便

- (1) 運行日 12月・1月の毎週金曜日と土曜日 ※2月4日(土)からは通常どおり毎週土曜日
- (2) 運行時刻 19時、20時(鹿児島中央駅発)  
※12月は18時30分、19時30分発を増便
- (3) 運航経路 鹿児島中央駅 → 天文館 → ドルフィンポート → 市役所前(みなと大通り公園) → 城山 → 西郷銅像前 → 天文館 → 鹿児島中央駅
- (4) 運賃 夜景コース専用一日乗車券(大人200円、小人100円)  
※1回降車ごと 大人180円、小人90円



昨年のみなと大通り公園のイルミネーション

**【冬のイルミネーション(マイアミ通り・海岸通り)・カゴシマシティビューの増便】**

問い合わせ：観光振興課 電話：099-216-1327

**【冬のイルミネーション(みなと大通り公園・鹿児島中央駅前広場)】**

問い合わせ：都市景観課 電話：099-216-1425

## 6 第4回かごしまITフェスタ

子どもから高齢者まで多くの市民にIT(情報通信技術)を身近なものとして感じていただくとともに、地元IT産業の活性化などを図るため、「来て、見て、さわって、ITワールド」をテーマに、第4回かごしまITフェスタを開催する。

1 日 時 12月2日(金)～4日(日)10時～17時(最終日のみ16時)  
※オープニングセレモニー 12月2日(金)9時50分

2 場 所 鹿児島アリーナ(入場無料)

3 概 要(参加団体数78団体、出展ブース数63ブース)

(1) 展示コーナー

IT関連企業等による最新のソフトウェアや情報システムの展示、エコカー展示など

(2) 主なイベント

①ビジネスセミナー

- ・「東日本大震災時における業務継続について」(株)東日本計算センター代表取締役社長 鷲 弘樹氏
- ・「テクノロジーで広がる未来」日本マイクロソフトCTO(最高技術責任者) 加治佐 俊一氏の講演など

②ステージイベント

エボルタ君とその製作者である高橋智隆氏の講演や実演、スマートフォンの観光アプリ体験など

③体験イベント

東日本復興支援ワンコインセグウェイ体験試乗会、超初心者パソコンコーナー、鹿児島をテーマにしたアニメ制作、ロボット工作教室、ETロボコン操作体験など

④学習メディア作品コンクール表彰式

⑤東日本復興支援再生パソコン寄贈プロジェクト

4 臨時無料駐車場 伊敷中学校グラウンド(3日・4日) ※会場まで無料シャトルバスを運行

5 主 催

かごしまITフェスタ実行委員会(鹿児島市、鹿児島市教育委員会、社団法人鹿児島県情報サービス産業協会、ソフトプラザ鹿児島運営委員会、国立大学法人鹿児島大学、鹿児島商工会議所、NPO法人鹿児島インフアーメーション)



セグウェイ体験試乗会

問い合わせ：情報システム課  
電 話：099-216-1115

## 7 市民参加による広報紙の発行

平成20年10月の「かごしま環境都市宣言」と「かごしま環境未来館」の開館に合わせて、同年12月(地球温暖化防止月間)から発行している広報紙「かごしま市民のひろば」環境特集号を、今回初めて公募で選考した5人の「広報紙『かごしま市民のひろば』編集サポーター」と協働して制作し、発行する。

### 1 環境特集号の概要

- (1) 発行日 12月1日
- (2) 発行部数 277,800部
- (3) 配布時期 12月1日～6日(「かごしま市民のひろば」12月号と同時配布)
- (4) 規格 タブロイド判4ページ(全ページカラー)

### 2 主な特徴

- (1) 紙面の企画から取材、編集作業までを5人の広報紙「かごしま市民のひろば」編集サポーターと広報課職員が協働して行った。
- (2) 市の施策などの紹介に加え、編集サポーターが市民目線で取材した記事などを盛り込み、市民の皆さんが、身近なことから環境にやさしいエコ行動に取り組むきっかけとなるような内容とした。

### 3 発行までの経過など

- (1) 広報紙「かごしま市民のひろば」編集サポーター会議  
9月～11月まで5回開催
- (2) 市民編集サポーター
  - ・吉山 美紀さん(20歳 大学生)
  - ・松元 佳奈さん(35歳 NPO法人職員)
  - ・石川 麻美さん(38歳 主婦)
  - ・武 浩太郎さん(42歳 NPO法人代表)
  - ・木佐貫 靖さん(52歳 自営業)



サポーター会議の様子

問い合わせ：広報課

電話：099-216-1133